



# 高松空港と地域の活性化プラン (ローリング2023・期末報告)

高松空港エアライン誘致等協議会



2024年3月

## 2023年度の振り返り サマリー

### 航空路線

- 国内線は、新型コロナウイルスの5類移行への後、観光需要を中心に、旅客数はコロナ禍前の約9割まで回復しています。一方で、航空会社の保有機材更新による機材の小型化が進んでおり、供給座席数が減少傾向にあります。
- 国際線は、昨年9月28日に上海線が運航を再開し、国際線の全路線が運航再開となりました（上海線については航空会社の事業計画の変更に伴い、10月10日より再度運休）。各路線とも総じて好調に推移し、ソウル線では韓国の連休期間に合わせ昨年9月28日から10月11日の期間限定で1日2往復に増便、台北線では今年1月2日から週5往復、さらに2月2日からは週7往復に増便されるなど、運航便数も増えつつあります。

#### <参考 国際線の今後の運航予定>

- 上海線：2024年4月2日より週3往復にて運航を再開、その後、6月23日から週4往復に増便。
- 台北線：2024年3月31日より週5往復にて運航。
- 香港線：2024年3月31日より週5往復に増便。

### 二次交通

- 高松空港発着のリムジンバスは、①高松駅方面 ②琴平方面 ③坂出・丸亀方面 ④観音寺・四国中央市方面の4路線が運行中です。
- 空港駐車場の直近の売上及び有料利用台数は、コロナ前（19年度）の約90%までに回復しています。また、県営駐車場についてはコロナ前を大きく上回る利用状況となっています。

### ターミナル店舗

- 旅客数の回復とともに、物販・飲食店舗の売上についてもコロナ禍前の約8～9割まで回復しています。
- ターミナルの物販・飲食店およびラウンジは全店舗営業中。また、2023年10月にターミナルビル2階のカフェ・ヴォーノ(旧店舗名)がcafé THREE(新店舗名)としてリニューアルオープンしました。
- 国際線旅客のニーズに対応するため、2023年9月に国際線搭乗待合室内に軽食などを販売できる自動販売機を設置しました。

### イベント等

- FUNTAK 高松空港まつり 2023 の開催など、地域のにぎわい創出と非航空利用客の集客強化を目的とした施策に取り組みました。

## 2023年度の振り返り（旅客数見込み）



2022年度下期から、新型コロナウイルス感染症に伴う行動制限や水際対策の緩和を受け、国際線の復便が始まるなど本格的な回復基調に転じ、今年度は**コロナ前の約9割となる182万人**の旅客数を目標として、空港の利用促進・活性化に取り組み、旅客数としては計画を上回る見込みとなっています。

また、今年度より開始の高松空港(株)中期計画（～2027年度）では「アジア・世界とつながる、四国瀬戸内NO.1の国際空港」という長期ビジョンのもとに、28年度以降の飛躍を目指すための成長基盤を確立していきます。

### 旅客数・取扱貨物量の実績及び目標値（中期計画（2023年度））

	19年度 実績	20年度 実績	21年度 実績	22年度 実績	23年度 計画
旅客数	202 万人	42 万人	66 万人	136 万人	182 万人
国内	173 万人	42 万人	66 万人	133 万人	157 万人
国際	29 万人	0 万人	0 万人	3 万人	25 万人
取扱 貨物量	0.6 万トン	0.2 万トン	0.2 万トン	0.2 万トン	0.3 万トン

### 2023年度 旅客数着地見込み

**183万人**  
**国内157万人**  
**国際26万人**  
**計画比101%**

\* 2024年2月末時点（想定）

※本計画の内容は、需要回復見通しの変更や関係者との協議等を踏まえ、今後変更の可能性があります。

## 2023年度の振り返り 国内線利用促進の取り組み（既存路線）



路線の認知拡大や利用促進を目的に、様々なチャンネルでイベントやキャンペーンを実施しました。

### 羽田線

- ・首都圏での香川県PRイベントの実施



9月に香川県PRイベント「ヤドンパラダイスin香川」を御殿場プレミアムアウトレットにて開催しました。

- ・WEB上でのクーポン配布施策



香川県の島旅を訴求することを目的として、OTA「じゃらん」や、MaaS企業と連携し旅行割引クーポンやお買い物クーポンを配布しました。

### 那覇線

- ・就航30周年記念のイベント/キャンペーン開催



就航30周年をフックに、那覇線の路線PRを香川県内各所で開催しました。またイベントでは沖縄観光コンベンションビューロー（OCVB）様にも出展頂きました。

- ・YouTuberを活用した沖縄PR



沖縄の魅力を継続して発信することを目的として、さめきうどんYouTuber「ヤグタウン」氏に沖縄そばを紹介しながら香川とのゆかりのあるスポットを紹介していただきました。

### 成田線

- ・成田線10周年の記念イベント開催



就航10周年を迎えた成田線の記念イベントを12月に高松空港、1月に丸亀町グリーンにて実施しました。

- ・各種イベントへの参加



若年層及びファミリー層への路線認知向上を目的として、県内のイベントにブースを出展しました。航空券やエアライングッズが当たる抽選会を実施し、路線認知度の向上に努めました。

# 2023年度の振り返り 国際線利用促進の取り組み（既存路線）



運航再開後の早期需要回復及び安定化を図るため各種利用促進キャンペーンやイベントを実施しました。

## 【路線PR】

### ソウル線 (デイリー運航)

幅広い客層にアプローチする為、香川大学と連携し運航再開1周年を記念し、路線PR及びSNSを活用した参加型イベント「TikTok#高松渡韓チャレンジ」を企画、実施いたしました。



## 【販促キャンペーン等の実施】

更なるデイリー運航の利用促進及び需要安定化を図る為、2人以上の予約の場合、1名分（片道）の航空代金が無料となるキャンペーンを実施しました。



## 【就航先におけるイベント実施・利用促進】



香川県観光協会と連携し、台北市場における香川県の認知度向上、誘客（特にファミリー層）を目的に、民営化後初の試みとして三菱地所が運営に関与する台北市内の商業施設にて動画やパンフレット配布、景品抽選会等、観光PRイベントを行いました。

### 台北線

(24年2月～デイリー運航)

デイリー運航へ復便後の需要確保及び台北以遠のネットワークの強み（乗り継ぎ利便性）をPRする為、テレビCM（15秒）を制作し、香川、岡山、高知、愛媛エリアで放映いたしました。



チャイナ エアライン公式ホームページを通じたFIT旅客層の販売強化、需要掘り起こしの為、高松-台北線オリジナルデザインの台湾交通系ICカード（イージーカード）のプレゼントキャンペーンを実施しました。

### 香港線

(23年度～運航再開)

若年層へのアプローチする為、香川大学大学祭へブース出展し巨大ガラポン抽選会や路線PRパンフレット、旅行商品のチラシ等の配布を行いました。



香川県のほか隣県の旅行会社等の利用促進を図る為、航空会社・高松空港振興期成会・高松空港とで連携し、セールス活動や各種助成制度の周知等を実施しました。

高松空港振興期成会と連携し、県内高校等による教育旅行等での高松-台北線利用促進のため、県内高校の校長、教頭等の教員による台湾現地での視察ツアーを実施しました。また現地では、県内高校と台湾の高校との一層の交流を促進する為、候補となる高校・専門学校の視察及び教員との意見交換も行いました。



## リムジンバス

バス路線	運休・減便の状況
高松駅	通常運行
琴平	通常運行
丸亀・坂出	通常運行 (丸亀・善通寺ルートは運休中)
四国中央・観音寺	通常運行 (空港発最終便は予約運行のみ)

## リムジンバスセット券

バスde四国水族館セット券

小豆島バス&フェリー往復割引チケット

レール&リムジンバス

## 定額タクシー

《高松空港》 — 《高松市内中心部 3つのエリア》を定額運賃で運送するサービス。

これまでは、高松空港 → 高松市内の一方通行のみでしたが、2023年12月1日から、双方向での定額運賃による運送をスタートしました。

## 駐車場の利用状況

- 空港駐車場の直近の売上及び有料利用台数はコロナ前（19年度）の約90%までに回復しています。また、県営駐車場についてはコロナ前を大きく上回る利用状況となっています。

## 交通安全キャンペーンの実施

旅客数の増加とともに、駐車場の利用台数も増加してきていることから、空港構内道路の適正利用と交通安全啓発を目的に、高松南警察署と合同で【高松空港 交通安全キャンペーン】を実施。

【日時】 2023年12月15日（金）

【実施内容】

- 空港利用者に対し館内で交通安全を呼びかけチラシを配布。
- 横断幕・のぼり旗をもって呼びかけ
- カーブサイドにパトカー、白バイを配置



## 2023年度の振り返り 空港の集客力強化に向けた取り組み



地域の皆様に空港・航空をより身近に感じていただくためのイベントを実施しました。

### FUNTAK 高松空港まつり 2023

- ・ 例年好評をいただいている「FUNTAK 高松空港まつり 2023」を、2023年10月21日（土）に開催しました。
- ・ 当日3,000人以上という、想定以上の方に空港に足を運んでいただき、空港をお楽しみいただきました。
- ・ 旅客数もコロナ前に戻りつつある中での開催のため、ターミナル内のみならず、屋上・駐車場のスペースなども活用しました。



# 2023年度の取り組み ターミナルの増改修

## ✈️ 国際線ターミナルの利便性向上のためのリニューアルを推進します

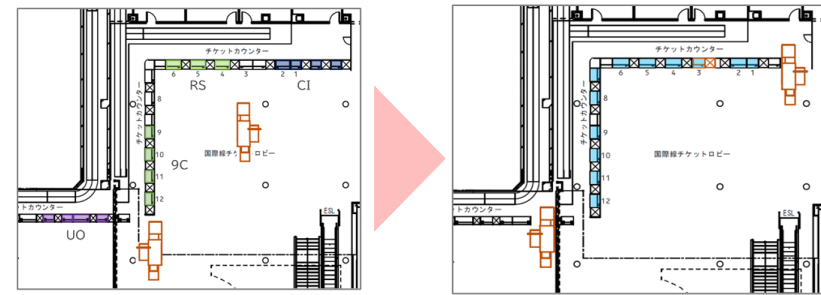
### ① 国際線チェックインカウンター・搭乗ゲートのCUTE化

- CUTE(Common Use Terminal Equipment)
- 現行は旅客手続システムは各エアラインにて固有端末・ネットワークを設置していたものを **高松空港(株)が共用システムを設置・管理**し、エアラインに使用していただきます。

#### 【効果】

- 新規就航エアラインのカウンター設置コストが減るうえ、新設スペースも不要となります。  
(→同時間帯運航便数・機材大型化に合わせた柔軟なブース運用が可能)  
※1ブース多く開けることで、待ち時間が約20%短縮可能。(4→5ブース)  
併せてX線検査機を移設し、旅客スペース拡大・ハンドリングスタッフ省力化に繋げる。

「CUTE設置前後のロビーレイアウト」



「CUTE設置後」



### ② 国際線保安検査場の2レーン化

- 国際線保安検査場東側に隣接する空き区画を活用し、**保安検査場を2レーン化**。
- 2レーン化により、コロナ禍前、特に出発2便重複時の待機列(最大約1時間)の解消を図ります。
- 2023年12月整備完了

「国際線保安検査場2レーン化」





# 2023年度の取り組み ターミナルの増改修（その他利便性向上策）



## 国際線ターミナルの利便性向上のためのリニューアルを推進します

### ③ 23年度受入ボトルネック解消・利便性向上策一覧

	施策	効果	実施状況
①	国際線CUTE化	○ 現行施設でも新規エアラインの受入れが可能となる。 ○ チェックイン待ち時間の短縮が可能となる。	2024年3月中旬 供用開始
②	国際線保安検査場2レーン化	○ 出発便重複時の保安検査待ち時間の短縮が可能となる。	2023年12月20日 供用開始 済
③	国際線搭乗待合室内 バリアフリートイレ新設	○ 国際線出発時において、バリアフリートイレを必要とされる方への利便性を向上させる。	2023年12月13日 供用開始 済
④	国際線エリア照度向上	○ 国際線エリアにおいて空港利用者快適性を向上させる。	2023年11月2日 供用開始 済
⑤	国際線エリア什器増設	○ チェックイン待ち時間等における旅客快適性を向上させる。	2024年1月 供用開始 済
⑥	デジタルサイネージへの 災害情報表示システム導入	○ 多言語表示・館内アナウンス連動にて災害時の安全・安心に繋がる情報発信力を向上させる。	2023年11月15日 供用開始 済



国際線CUTE化



国際線保安検査場2レーン化



国際線搭乗待合室内  
バリアフリートイレ新設



デジタルサイネージへの  
災害情報表示システム導入



国際線エリアの什器増設

## 2024年度の取り組み



### 2024年度 事業方針

#### 目標旅客数

	2024年度目標	【中期計画】 2024年度目標	【参考】 2019年度
旅客数	205 万人	184 万人	202 万人
国内	165 万人	158 万人	173 万人
国際	40 万人	26 万人	29 万人

- 国内線については、既存路線（羽田・那覇・成田）のコロナ前の水準への回復を目指します
- 国際線については、東アジアの旺盛な需要を取り込むべく、既存4路線（ソウル・上海・台北・香港）の復便・増便や高雄・台中チャーター等により更なる路線拡充を図り、過去最高の旅客数を目指します
- 国内線・国際線ともに新たな就航先への路線開設に向けたチャーターの誘致に取り組みます

#### 空港施設の受入環境整備

- 当面の需要急増と将来的なさらなる需要伸長を見据え、**空港のハード・ソフト両面での受入環境整備を加速**していきます。
- 航空会社、グランドハンドリング、保安検査を始めとする**空港事業者様にとっても働きやすい環境づくりを推進**していきます。

## 2024年度の取り組み 既存路線



既存路線の需要拡大を目指し、交流人口増加を目的とするプロモーションを実施します。

### インバウンド

### アウトバウンド

国内線

#### 課題

- ・ 首都圏での香川・瀬戸内の魅力の訴求
- ・ 閑散期の需要創出

#### 方向性

- ・ グループ会社の首都圏商業施設を活用した香川県PRイベントの実施
- ・ 航空会社と連携した効果的な情報発信やキャンペーンの実施
- ・ OTA等を活用した利用促進キャンペーンの実施

#### 課題

- ・ リピート需要の創出
- ・ 新規顧客の開拓
- ・ 相互交流の拡大

#### 方向性

- ・ ファミリーや若年層等、ターゲットに沿ったプロモーションの実施
- ・ 広域エリアでのプロモーション実施
- ・ 相互交流イベントでの路線認知向上を目指したPR実施

国際線

#### 課題

- ・ 各市場の旅行トレンドに応じた香川・瀬戸内の魅力の訴求
- ・ 近隣空港の復便状況を踏まえた営業、プロモーションの実施

#### 方向性

- ・ グループ会社の海外施設を活用した香川県PRイベントの実施および旅行博への出展
- ・ 航空会社と連携した現地市場における効果的な情報発信や促進キャンペーンの共同実施
- ・ 現地旅行会社を対象とした香川・瀬戸内視察ツアーや地元観光事業者との商談機会の創出
- ・ レンタカー等二次交通と連携した利用促進キャンペーンの実施

#### 課題

- ・ インバウンド需要に相対し依然回復が弱い日本人への需要喚起
- ・ 既存路線の復便・増便等の利便性回復現況の周知・PR
- ・ 香川県・旅行業界団体・高松空港が一体となったPR・販促の強化

#### 方向性

- ・ JATA、ANTAとの海外旅行促進協業イベントの実施や旅行会社を対象としたデスティネーションセミナーの実施
- ・ 航空会社と連携した旅行会社へのセールス活動の強化
- ・ 修学旅行・研修旅行・卒業旅行など学生や若年層の需要喚起のためのセミナーやFAMツアーの実施
- ・ 台北・ソウルでの乗継利便性のPR

## 2024年度の取り組み 地域のにぎわいづくり



空港ならではののにぎわいを創出し、地域の皆様に空港や空の旅の楽しさを感じていただきます。

FUNTAK ランウェイウォーク 2024

2024年8月上旬を予定

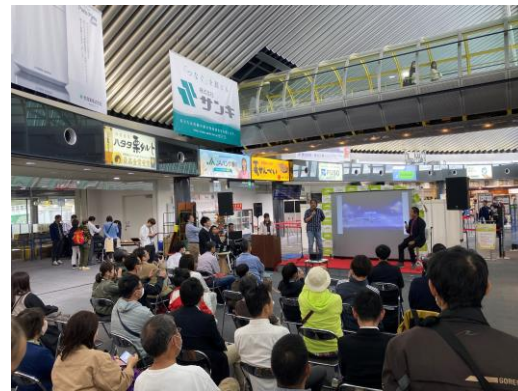
高松空港開港35周年記念セレモニー

2024年12月中旬を予定

FUNTAK 高松空港まつり 2024

2024年12月中旬を予定

※イベント(案)は変更される可能性があります

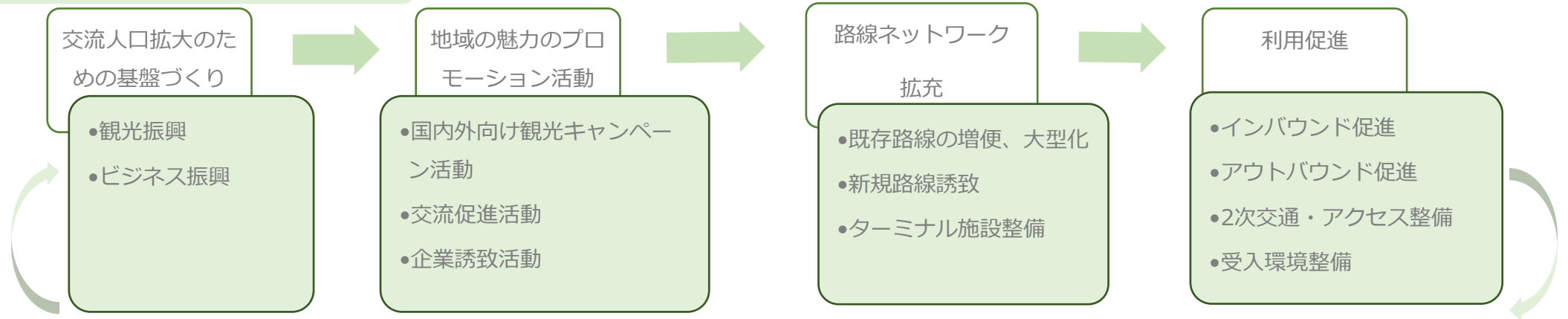


## プランの進め方（活性化プランの抜粋）



地域と高松空港は、各自の分野において交流人口拡大や航空需要の増加に取り組み、連携・協力が必要な分野では官民連携の相乗効果を最大限発揮する。

### 交流人口拡大と航空需要の増加のサイクル



### 地域と空港の取組み

地域と空港で連携・協力することとなった取組みについては、事前に調整の上進める

